



園長だより

第3号



新渡戸文化子ども園
平成25年6月21日

「聞く」と「言葉をかける」

「おかあさん。今日ね、**ちゃんと遊んでねケンカしちゃったの。でもね、先生と一緒にごめんねを言ったら**ちゃんもごめんねと言って仲直りしたんだよ。」

「今忙しいから後でね。」と言いながら、話を「聞く」。

忙しい毎日でついつい言ってしまいがちですね。私も何度言ってしまい、そのあと約束通り聞いてあげることができなかつたらと思う返します。

「何回言ったらわかるの?」と、子どもに「言葉をかける」。

電車や公共の場で親御さんが子どもに言っているのを見かける時があります。そんな時、ついその子に代わり「何回言ったら聞いてくれるの?」「何回言ってもわからないよ。だって、何回言ってもおかあさんは(おとうさんは)話をしても聞いてくれなかつたよね。」と伝えてあげてください。

話を聞いて「そうなんだ。よかったね。」と、短い言葉をかけて共感してあげる。

それだけで子どもは最高の満足です。そして、話すとき聞いてくれ同じように感じてくれる安心感があると、今度は反対に言われたこともしっかりと聞き、その約束を守ろうとする。

子どもは、もしかしたら大人にとっての心の鏡なのかもしれませんね。

つぶやき (3歳児)

A子「先生。青いトマトと赤いトマトがたくさんあるの。青いトマトはまだ寝てるんだよ。でも、赤いトマトはもう起きてるんだよ。」

先生「どうして?」

A子「だって恥ずかしいからお顔が赤くなってるの。」

先生 笑顔

つぶやき (5歳児)

B男「僕たちのトマト大きくなってきたからもうすぐ食べれるよね。」

C男「でも、みんなの分がないからだれから食べるのかな?」

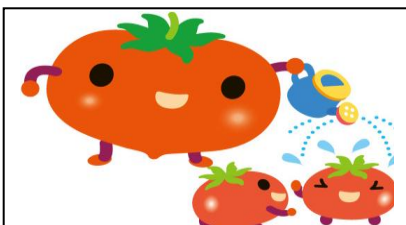
先生「みんなで順番に食べていこうね。」

B男とC男「順番だよね」



子育て相談 ～子ども園相談室より～

ご家庭での子育ては、毎日大変な事と思います。子ども園の畑では、先日カブを収穫しました。カブを作るには、「①きちんとした間隔であけて種をまく②4つの種をまいても、芽が出たら1本の芽を残して3本の芽は間引きする③追肥をする」等が大切です。そして、このルールを守ると美味しくできますが、



ルールを守らないと美味しくはできないかもしれません。

ご家庭での子育てと重なる所がありますね。

園では食育に力を入れていますが、ご家庭では炭酸飲料など甘いものを常に飲ませたり、お菓子を制限なく食べさせていませんか? 立ったまま物を食べさせたりしていませんか?

収穫した大きなカブは、おいしい漬物にさせていただきました。